

SIR SIMON RATTLE

ラトル &
ロンドン響による
最後の来日公演!



サー・サイモン・ラトル指揮
ロンドン交響楽団

LONDON SYMPHONY ORCHESTRA

2022.10.7 金 19:00開演 (18:00開場) 東京芸術劇場 コンサートホール

■全席指定(税込)

S席¥31,000 / A席¥26,000 / B席¥21,000 / C席¥15,000
D席¥9,000 / SS席¥35,000 / 高校生以下¥1,000*

■お申込み・お問合せ:

▶東京芸術劇場ボックスオフィス(休館日を除く10:00~19:00)

0570-010-296 <https://www.geigeki.jp/t/>

▶チケットぴあ <https://pia.jp/t/geigeki/> [Pコード 218-900]

▶イープラス <https://eplus.jp/geigeki/>

▶ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:35638]

※未就学児入場不可。 ※高校生以下チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスのみ取扱い(枚数限定・要証明書)。
※障害者手帳をお持ちの方は、割引料金で観劇いただけます。詳細は東京芸術劇場ボックスオフィスまでお問合せください(要事前予約)。
※やむを得ぬ理由により出演者等変更の可能性がございます。 ※営利を目的とした、チケットの転売は固くお断りいたします。
※公演中の入退場、写真撮影、録音、録画は固くお断りします。
※開演時刻に遅れますと、長時間入場をお待ちいただいたり、自席にご案内できない場合がございます。
※公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入いただきましたチケットのキャンセル・変更は承れません。

■Program

ベルリオーズ/序曲『海賊』 作品21

Berlioz: Overture "Le corsaire", Op.21

ドビュッシー/劇音楽『リア王』から

「ファンファーレ」、「リア王の眠り」

Debussy: "Fanfare", "Le sommeil de Lear" from "Music to King Lear"

ラヴェル/ラ・ヴァルス

Ravel: La Valse

ブルックナー/交響曲第7番 ホ長調 WAB107 (B-G.コールス校訂版)

Bruckner: Symphony No.7 in E major, WAB 107(ed. B.G-Cohrs)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 協賛: TDK TDK株式会社

後援:ブリティッシュ・カウンシル

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会



ラトル&ロンドン響による最後の来日公演!



SIR SIMON RATTLE, CONDUCTOR

©Oliver Healy



サー・サイモン・ラトル (指揮)

英国リヴァプール出身。パーミンガム市響を率いたあと、2002～18年にはベルリン・フィルの芸術監督として活躍。2017年からはロンドン響の音楽監督に就任した。現在に至るまで一貫してクリエイティブな活動を

続け、70以上の録音は高い評価を得、また教育プログラムの推進など新しい分野も開拓し、多くの名誉ある賞を受賞。ウィーン・フィル、ボストン響、フィラデルフィア管、METをはじめ、世界各地の主要楽団や歌劇場と長年にわたる強い信頼関係を築き、注目すべき成果を残している。

©Mark Allan

「音楽を聴く」最高の喜びがここに

——ラトル×LSO、圧巻の歴史的コラボへの期待

柴田克彦(音楽評論家)

2018年のラトル&ロンドン響の来日公演はまさに圧巻だった。ベルリン・フィル繁栄の重責から解放されたラトルが、心から愉しみながら音楽を紡ぎ、フレキシブルな高機能集団ロンドン響が、自国の名匠をシェフに得た喜び漲る演奏を展開。世界トップ級の両者が一体となって「音楽する」その稀有のコラボは、「音楽を聴く」ことの喜びを心底もたらした。

それだけに2020年秋の日本公演の中止は痛恨の極みだった。だが待望の来日が今秋実現する。しかも昨年、ラトルが2023年秋からバイエルン放送響に移ることが発表された。ならばコンビ最後の来日の可能性大なるこのタッグを聴き逃せるはずもない。

ラトルらしき満載のプログラムも魅力十分だ。メインをなすブルックナーの交響曲第7番のコーラス校訂版は、ラトルがベルリン・フィルで初演し、日本公演でも披露した十八番のひとつ。ロンドン響とのブルックナーも、交響曲第6番のダイナミックで生気に富んだLSOライヴの録音から期待は大きい。前半は何とフランス物。ラトルの持ち味に合ったペリオリオズの澁刺たる序曲「海賊」、彼がパーミンガム市響と録音しているドビュッシーのレア曲「リア王」に、「管弦楽の魔術師」ラヴェルの鮮烈な「ラ・ヴァルス」が続く。ラトルは「フランス物と組み合わせることで、ブルックナーの異なる一面が映し出される」と述べており、この新鮮なカップリングも心を弾ませる。

ここは、歴史的なコラボをしかと耳に焼き付けておきたい。

LONDON SYMPHONY ORCHESTRA



©Ranald MacEachnie

ロンドン交響楽団

1904年創設。「多くの人々に素晴らしい音楽を届けたい」という起業家精神のもと、楽団員により運営される、英国最高にして世界屈指のオーケストラ。伝統のサウンドをもち、各時代の一流の演奏家と名演を繰り広げている。2017年からラトルが音楽監督を務め、より演奏活動に密度が増した。年間60回を超えるコンサートを行い、世界の音楽都市も定期的に訪れる。自主レーベル「LSOライヴ」は大成功で、教育、メディアにも深く関わる。「スターウォーズ」などの映画音楽でも有名。

公式サイト: <https://lso.co.uk/>

2022.10.7[金] 19:00開演(18:00開場) 東京芸術劇場 コンサートホール

〈チケット料金 | 全席指定(税込)〉

S席 ¥31,000 / A席 ¥26,000 / B席 ¥21,000 / C席 ¥15,000
D席 ¥9,000 / SS席 ¥35,000 / 高校生以下 ¥1,000*

※未就学児入場不可。※高校生以下チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスのみ取扱い(枚数限定・要証明書)。

※障害者手帳をお持ちの方は、割引料金で観劇いただけます。詳細は東京芸術劇場ボックスオフィスまでお問合せください(要事前予約)。

※やむを得ぬ理由により出演者等変更の可能性がございます。※営利を目的とした、チケットの転売は固くお断りいたします。

※公演中の入退場、写真撮影、録音、録画は固くお断りします。

※開演時刻に遅れますと、長時間入場をお待ちいただいたり、自席にご案内できない場合がございます。

※公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入いただきましたチケットのキャンセル・変更は承れません。

〈お申込み・お問合せ〉

▶ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く10:00～19:00)

<https://www.geigeki.jp/t/> *24時間受付(メンテナンスの時間を除く)

▶ チケットぴあ <https://pia.jp/t/geigeki/> Pコード[218-900]

▶ イープラス <https://eplus.jp/geigeki/>

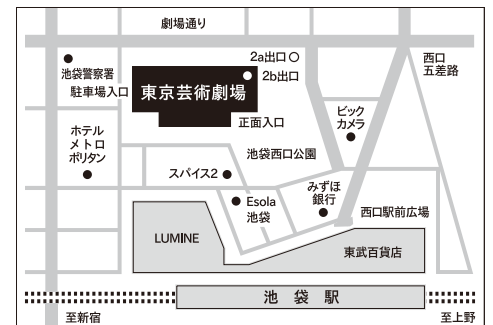
▶ ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:35638]

〈チケット発売日〉

▶ 芸劇メンバーズ先行 6.11[土] 10:00～6.17[金] 23:59

▶ 一般発売 6.18[土] 10:00～

〈会場〉



東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 TEL 03-5391-2111

▷ JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線

池袋駅西口より徒歩2分。(駅地下通路2b出口と直結しています。)

〔東京芸術劇場託児サービス〕

株式会社ミラクス ミラクスシッター

※有料・定員制・土日祝を除く

Tel: 0120-415-306 (平日9:00～17:00)

希望日1週間前迄に要予約

〔ご来場いただくお客様へ〕

東京芸術劇場では、新型コロナウイルス感染症対策を実施しております。ご来場いただく際は、必ずホームページで注意事項や公演の最新情報をご確認の上、マスク着用にてご来館ください。また、体調不良が認められる場合は、ご入場をお断りする場合がございます。予めご了承ください。